

建設経済委員会

委員長 鈴木 敬
副委員長 渡辺哲也
委員 梅田福男 大川敏雄
増田榮策 森 温繁

十二月定例議会において本委員会に付託された議案は、一般会計補正予算（当

委員会付託事項）と下水道事業特別会計補正予算案の二件です。

一般会計補正予算

農林水産業費

中山間地域等直接支払事業費が九十六万一千円増額されました。これは、中山間地域事業の参加集落が二集落ほど増えたためです。また、有害獣被害対策事業補助金も五十万円追加計上されました。総額で百七十万円となります。

観光商工費

観光振興対策事業としておもてなし品質向上モデル事業委託費六十万円が計上

されました。おもてなしチエックポイント冊子作成、市民を対象としたおもてなし講演会開催、月一度の観光従事者を対象とした実地勉強会などが企画されています。

土木費

下田公園園路崩壊復旧工事費として三百万円が計上されました。昨年七月二十四日に被災したアジサイ園の園路復旧のためのものです。

県営街路事業（下田港横枕線）負担事務費は一十三百五十万円減額されました。道路拡幅のための用地買収に手間取り、工事着手が遅れが生じたための減額補正です。

市営住宅維持管理事業費七十万円の計上は、丸山住宅一軒、うつき原住宅一軒の移転のための修繕料です。この移転によって、市営住宅借地分の整理総合が進められ、一部借地返上が図ら

れることになりました。市営住宅、特に丸山住宅については以前から様々な問題点が指摘されてきましたが住居者が高齢化し年金生活者が多いこと、借地がほとんどであること、敷地内に未認定の道路等があること等々の理由から将来的方向性が決められないで来ました。年間七百二十五万円の借地料に対して家賃収入が百三十六万円という現状は財政改革の観点からも、早期の根本的対策が必要とされて来ています。

災害復旧費

白浜板見漁港漁道災害復旧工事費が三千五百八十三万円減額されました。崩落箇所での地質調査の結果、崩落の原因は表面の安山岩の劣化によるものであり、表面吹付やロックポルト工法で充分対処できることになり、工費が大幅に減額査定されたためです。市道道隅線（田牛タライ岬遊歩道）災害復旧工事費も八百万円の減額となりました。工事完了による工事費の精算確定の結果です。

下水道事業特別会計補正予算

下水道幹線管渠築造工事費が一千六百九十一万円減額されました。またそれに伴い、市債も八百万円減額補正されました。

行政視察報告

視察日 平成十八年十月二十四日
（水）
・長浜市黒壁事業の取り組みについて

彦根市まちづくりと一体になった商業活動の取り組みについて
黒壁事業の概要は、明治時代に第三百三十銀行長浜支店として建築され、その外壁が黒漆喰の様相から「黒壁銀行」、「大手の黒壁の愛称で親しまれていた建物を、その保存と中心市街地活性化の拠点として活用を目的に民間企業者八名の有志が集い、長浜市の支援を受け出資総額一億三千万で昭和六十三年四月、第三セクター株式会社を設立し、建物の修復と復元を進める

中、郊外大型店舗の進出により中心商店街の長年に亘る沈滞の低迷から脱出と活性化の起爆剤となるべく伝統地場産業にとらわれないまた第三セクターであることから既存民業を圧迫することのない、長浜から全国へ情報発信たりえる事業を模索しているようです。

また住み分けのできる町として建物、風情を含めた「歴史性」、祭りを含めた「文化芸術性」、そして世界を視野にいれた「国際性」、この三つのコンセプトを内蔵した事業を搜し続けるようです。人が一人も通らない町に現在では二百万人以上の来街者を町をあげて迎えております。

彦根市では住民活動の気運を大切にしながら事業を進めるため、組合施行による土地区画整理事業としての国の都市再生（まちなか再生型）土地区画整理事業を受け技術援助や資金援助を行うことにより、地盤沈下の激しい市場商店街の業種の組み替えや業態の改善、集約換地によるまちのラン